

ふるさとふれあい学習について

下吉田第一小学校では、郷土に関する学習を「ふるさとふれあい学習」と言います。「ふるさとふれあい学習」は、児童自身が将来豊かに生きていくためのヒントや児童自身が生活していくまちづくりのヒントなるように、自分が生まれ育った山梨県や富士山のふもとの歴史、自然、人物、産業の今を学びます。



【地元の専門家から学ぶ】

富士山と太陽で有名な櫻井孝美画伯をお招きし、絵の描き方を教えていただきました。校庭からの富士山の絵をみんな上手に描く事ができました。

「1年生 図工 わたしのすきなふじ山より」他にやぶさめ祭りの由来、戦国時代の下吉田などその道の専門家を招いて授業を展開しています。

【本物にふれる、実物で学ぶ】

遠足では実際に出かけて、本物に触れながら地域の学習を行います。富士吉田にも溶岩流が流れたことを学、本校も溶岩流の上にあることも学びました。防災学習の基礎になっています。「3、4年 郷土学習 花の都内溶岩洞窟にて」この他に下吉田の町見学など積極的に実施しています。



【地元の人々とのふれあい】

かえる舎との連携を図り、CATV 富士五湖さんや地域の本屋さんなどの協力を得ながら、さまざまなキャリア教育を進めることができます。地元の方々と交流を図っています。

